



Digita File ユーザガイド



© 1999 FlashPoint Technology, Inc. All Rights Reserved.

Digita、Digita Desktop、および Digita ロゴは米国および他の国における Flash Point Technology, Inc. の商標または登録商標です。その他記載されている会社名や製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

Part Number DiFi-1.0-0999-0J

目次

Digita File をインストールする 1

- 特徴 1
- カメラのファームウェアをアップデートする 1
- インストーラをインストールする 2
 - Digita Desktop を使ってインストールする 2
 - PCMCIA またはコンパクトフラッシュカードリーダーを使ってインストールする 2
 - コダックマウントソフトウェア 3
- インストーラを起動して Digita File をインストールする 3

メイン・メニューの機能 4

- Digita File の起動 4
- Digita File の基本操作 5
 - Digita File 情報 5
 - メイン・メニューの表示 5
 - オプション・メニューの表示 6
- ファイルの選択 7
 - 写真を選択する 8
 - システムファイルを選択する 9
- 選択ファイルのコピー 10
- 選択ファイル名の変更 11
- 選択ファイルの削除 12

オプション機能 14

- コンパクトフラッシュカードのフォーマット 14
- 全ての画像の削除 14
- 全ての画像のコピー 15
- コンパクトフラッシュカード情報の表示 16
- 画像のフィルタ 17

問題解決方法 18

- Digita File のアイコン 18
- メッセージおよび現象 18
- 分からないことがある場合 20

Digita File をインストールする

このたびは、FlashPoint Technology, Inc. の Digita File をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。Digita File はカメラ内で実行できる便利なツールです。Digita File は、Digita 搭載カメラのコダック DC290 ZOOM で機能します。カメラに一度インストールすれば、Digita File を使うためにコンピュータは必要ありません。

特徴

Digita File は：

- ・ ファイルを別のコンパクトフラッシュカードにコピーします
- ・ 全てのファイルを他のコンパクトフラッシュカードにコピーします（フラッシュカードの複製を作ります）
- ・ ファイルを削除します。
- ・ 全てのファイルを削除します（カメラフォルダ、System フォルダ、ファイルを除く）
- ・ ファイル名の変更をします
- ・ コンパクトフラッシュカードをフォーマットします
- ・ ファイルやコンパクトフラッシュカード上で詳細を一見できます
- ・ 日付、カテゴリ、またはグループでファイルをフィルタします

サポートされているファイルの種類には、アプリケーション（Digita File など）、スクリプト、画像、テンプレート、ロゴファイル、System フォルダにあるファイルが含まれます。

アルバムはいくつかの画像ファイルを自分でグループにまとめたものです。

サポートされているフォルダの種類には、カメラフォルダ、System フォルダ、プログラムグループ、ナチュラルグループ（連写やインターバル画像）が含まれます。

ヒント Digita File はカラー液晶モニターを使用するので電池の消耗が著しくなります。カメラの A/C アダプタ、または十分に充電した寿命の長い電池の使用をお勧めします。

カメラのファームウェアをアップデートする

Digita File を実行するには、ファームウェアバージョン 1.0.2 以上が必要です。お持ちのカメラのファームウェアをアップデートする必要がある場合はカメラの説明書を参照してください。

インストーラをインストールする

まず、カメラのコンパクトフラッシュカードに Digita File をインストールします。コンパクトフラッシュカードには最低 2MB の空き容量が必要です。

Digita File をセットアップするには、カメラ上で動作するインストールアプリケーションを使ってコンパクトフラッシュカードにインストールします。インストーラアプリケーションは FIINST?.CAM というファイル名です (? はカメラメーカーにより異なります)。インストーラを起動するにはこのファイルをシステムフォルダにコピーしなければなりません。カメラを起動すると、このアプリケーションは必要なファイルをカード上の適切な場所にインストールしてから自動的にカードから削除されます。

注意 コンピュータ上に .CAM ファイルのバックアップを保存しておくことをお勧めします。これにより必要なときにいつでも再インストールでき、また他のカードへのインストールが可能になります。

次のいずれかの方法でカードに .CAM ファイルをコピーします。

Digita Desktop を使ってインストールする

Digita Desktop を使うと、シリアル、IrDA 又は USB 接続でアプリケーションをインストールできます。

1. カメラにコンパクトフラッシュカードが入っていることを確かめてください。
2. カメラをコンピュータに接続してカメラの電源を入れ、[CONNECT] モードにダイヤルを合わせます。
3. Digita Desktop を起動します。
4. Digita Desktop の「接続」ボタンをクリックしてから、カメラとコンピュータの接続方法を選択します。
5. 接続したら、カメラパネルの「設定」ボタンをクリックして「機能拡張」を選びます。「アプリケーション」を選択して「インストール」ボタンをクリックします。
6. .CAM ファイルを「ファイルを開く」ウィンドウで選択してから「開く」をクリックします。
7. 「アップロード中 FIINSTK.CAM」というメッセージが表示されます。以上の手順を行うことによりコンパクトフラッシュカードにアプリケーションがコピーされます。

PCMCIA またはコンパクトフラッシュカードリーダーを使ってインストールする

注意 カードリーダー又はコンピュータの PCMCIA スロットを使ってアプリケーションを直接コピーします。.CAM ファイルをコンパクトフラッシュカードのルートディレクトリの System フォルダにコピーします。System フォルダが存在しない場合

は「System」という名前で新しいフォルダを作成してからそのフォルダ内に .CAM ファイルをコピーしてください。

コダックマウンタソフトウェア

コダックマウンタソフトウェア (Kodak Mounter) を使うとシリアル、IrDA 又は USB 接続でアプリケーションをインストールできます。 .CAM ファイルをコンパクトフラッシュカードのルートディレクトリの System フォルダにコピーします。 System フォルダが存在しない場合は「System」という名前で新しいフォルダを作成してからそのフォルダ内に .CAM ファイルをコピーしてください。使用方法については、カメラのマニュアルを参照してください。

インストーラを起動して Digita File をインストールする

コンパクトフラッシュカードのシステムフォルダに .CAM ファイルをコピーした後は次の手順でインストーラを起動します。

1. カメラを [REVIEW] モードにして [MENU] ボタンを押し「アプリケーション」メニューに進みます。
2. .CAM ファイルを選択して「開始」ソフトキーを押します。すると、カメラの電源が切れます。
3. 電源を入れなおすとインストーラの画面が表示されます。
4. インストーラは、カメラに適切なファームウェアバージョンが搭載されているか確認します。対応していないファームウェアバージョンが含まれている場合は Digita File をインストールする前にファームウェアをアップデートするように警告し、インストーラは終了されます。
5. インストールを実行すると使用許諾契約書への同意の確認メッセージが表示されます。同意する場合は「同意する」を押して先に進んでください。同意しない場合はインストールが中止されます。
6. インストーラは Digita File アプリケーションと関連したすべてのファイルをコンパクトフラッシュカードに配置します。その後インストーラは自動的にカードから削除されます。
7. 無事インストールされたら、カメラの電源を切ります。「終了」ソフトキー又は電源ボタンを押すことにより、カメラの電源を切ることができます。

メイン・メニューの機能

Digita File の起動

Digita File をインストールしたコンパクトフラッシュカードをカメラに挿入します。次に以下の手順で Digita File を起動します。

1. カメラを [REVIEW] モードにします。
2. カメラの電源を入れます。
3. [MENU] ボタンを押します。
4. カメラの 4 方向ナビゲーションボタンを使ってアプリケーション・メニューが表示されるまで右にスクロールします。



アプリケーション・メニュー

5. 「FILE.CAM」を選択します。
6. 「開始」ソフトキーを押します。すると Digita File を起動するためにカメラの電源が切れます。
7. カメラの電源を入れます。これで Digita File が使える状態になります。

数秒で Digita File の起動画面が表示されます。



起動画面

Digita File の基本操作

Digita File の基本操作には、ツール情報やメイン・メニューまたはオプション・メニューで実行するファイル機能などがあります。

Digita File 情報

起動画面で「情報」ソフトキーを押すとツール情報を見ることができます。「終了」ソフトキーを押すと、起動画面に戻ります。

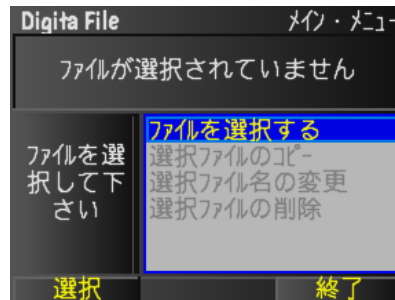


情報画面

メイン・メニューの表示

起動画面が表示されたらカメラの「開始」ソフトキーを押してメイン・メニューに進みます。メイン・メニューでは「ファイルが選択されていません」と言う

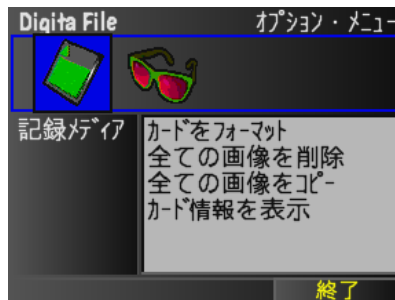
メッセージが表示されます。ファイルを選択するまで「ファイルを選択する」しか選べません。



メイン・メニュー

オプション・メニューの表示

オプション・メニューに追加機能があります。メイン・メニューを表示しているときにカメラの [MENU] ボタンを押すとオプション・メニューになります。

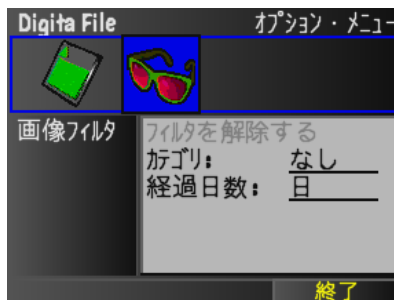


オプション・メニューの記録メディア

オプション機能の操作

1. オプション・メニューで、カメラの [MENU] ボタンを押すと、画面の上部にあるアイコンとメニュー項目へのハイライトがトグルできます。
2. アイコンがハイライトされている状態のときに左又は右矢印で機能を選択します。
 - コンパクトフラッシュカードアイコンは、記録メディア機能を意味します。オプション・メニューをはじめて表示した状態でこのアイコンが選択され、メニュー項目がハイライトされます。コンパクトフラッシュカードのフォーマット、全ての画像を削除、全ての画像をコピー、カード情報などの機能があります。
 - サングラスアイコンは画像フィルタを意味します。画像フィルタはグループ別、カテゴリ別、日付別などに制限して画像を表示します。
3. メニュー項目がハイライトされたときは、上又は下矢印で実行したい機能を選択します。

4. 「終了」ソフトキーを押すとメイン・メニュー画面に戻ります。



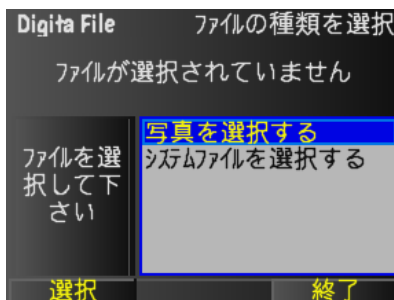
オプション・メニューの画像フィルタ

ファイルの選択

ファイルのコピー、名前の変更、又はファイルを削除する場合は、最初にファイルを選択しなくてはなりません。

メモ 複数の写真（画像ファイル）の選択や複数のシステムファイルのコピー、名前変更あるいは削除も可能です。メイン・メニューで操作の対象になる画像を前もって選択するだけで、ファイルはそのままです。いくつかの画面で選択ファイルの解除ができるようになっています。

1. メイン・メニューで「ファイルを選択する」をハイライトして、「選択」ソフトキーを押します。次の画面で選択したいファイルを選ぶことができます。

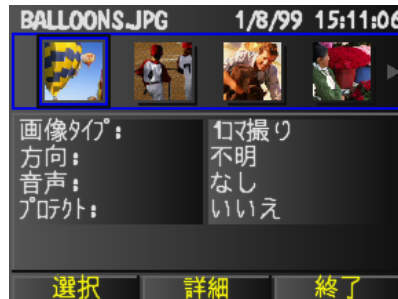


ファイルの種類を選択

2. カメラの4方向ナビゲーションボタンの上又は下矢印を使って「写真を選択する」又は「システムファイルを選択する」をハイライトします。
3. 「選択」ソフトキーを押します。

写真を選択する

「写真を選択する」を選ぶことにより、画面の上部分にカード上の Digita 画像サムネールが表示され、最初の画像をハイライトした選択ボックスが表れます。サムネール領域内よりもファイルの枚数が多い場合には右又は左矢印が表示されます。



写真を選択する画面

画像ファイル情報

「画像ファイルを選択する」画面では、選択した画像ファイルの情報を表示します。サムネール領域にファイル名と日付と撮影した時間が表示されます。画面の中心にファイルの画像タイプ、方向、音声又はプロテクトされているかどうかなどの情報があります。

1. 「詳細」ソフトキーを押すことにより、ファイルの詳しい情報が表示されます。選択ファイルのグループ(あれば)、カテゴリ(あれば)、そして撮影したカメラ名などの情報を知ることができます。



画像ファイル情報の画面

2. 続けて他の画像ファイル情報を見ることができます。また次に説明しているように写真を選択することもできます。

写真を選択してコピー、名前の変更、又は削除する

1. 「写真を選択する」画面で、カメラの4方向ナビゲーションボタン左又は上矢印を使って選択します。
2. 「選択」ソフトキーを押します。選択したファイルのサムネールにチェック印がついて、「選択」ソフトキーが「選択解除」にかわります。考えがかわった場合、選択したファイルを解除することが可能です。

3. 続けて他の写真を選択してください。終わったら「終了」ソフトキーを押します。「ファイルの種類を選択」画面が表示されます。ファイルの選択が終わったら、また「終了」ソフトキーを押してください。すると、メイン・メニューで選択したファイルの枚数とカード上のメモリ使用容量が表示されます。

ヒント 選択したファイルのメモリの容量に気をつけてください。他のコンパクトフラッシュカードにコピーする場合は、コピー先のカードにコピーができる十分な空き容量が必要です。

システムファイルを選択する

「システムファイルを選択する」を選ぶと、システムフォルダを示すアイコンがサムネールに表示されます。選択ボックスは最初のアイコンをハイライトします。領域内よりもファイルの枚数（と、フォルダの枚数）が多い場合には右又は左矢印が表示されます。

アイコンが緑色のコンパクトフラッシュカードなら、サブフォルダのフォルダを意味します。アイコンが赤色のコンパクトフラッシュカードなら、上の（親）フォルダにリンクするファイルの意味します。アイコンが画像なら、画像ファイルを意味します。

アイコンの上には、ファイル名又はフォルダ名、作成した日付と時間が表示されます。ファイル名ではなく、ふたつ終止符（..）がある場合は上の（親）フォルダにリンクする内容を見ることになります。

アイコンの下には、選択したファイルの場所、属性（あれば）、サイズが表示されます。ハイライトしたアイコンがフォルダを示す場合は、場所だけが表示されません。

メモ Digita File に関連がないファイルは、アイコンの上にクエスチョンマーク（？）が表示されます。



システムファイルを選択する画面

フォルダの内容を見る

フォルダの形をしたアイコンをハイライトすると「次へ」ソフトキーが表示されます。

1. 「次へ」ソフトキーを押してフォルダの内容を見ます（又は選択して）。

2. 「次へ」ソフトキーは「前へ」にも変更するので、このフォルダで選択を終了したら戻ることができます。ファイルの情報には場所、属性（あれば）そしてサイズが含まれています。

システムファイルを選択してコピー、名前を変更、又は削除する

1. カメラの4方向ナビゲーションボタンの右又は左矢印を使って選択したいファイルをハイライトします。
2. 「選択」ソフトキーを押します。選択したファイルのサムネイルにチェック印がついて、「選択」ソフトキーが「選択解除」にかわります。考えがかわった場合、選択したファイルを解除することが可能です。
3. 続けて写真を選択してください。選択が終わったら「終了」ソフトキーを押します。すると「ファイルの種類を選択」画面になります。ファイルの選択が終わったら、また「終了」ソフトキーを押してください。すると、メイン・メニューが再表示され、選択したファイルの枚数とカード上の使用容量が表示されます。画像ファイルを選択した場合、この合計には画像も含まれます。

ヒント 選択したファイルのメモリの容量に気をつけてください。他のコンパクトフラッシュカードにコピーする場合は、コピー先のカードにコピーができる十分な空き容量が必要です。

選択ファイルのコピー

コンパクトフラッシュカードから複数のファイルを、他のカードにコピーするとき、フォルダ構成は保たれています。ファイルが一定のフォルダにあると、コピー先のカードでも同じフォルダにコピーされます。必要ならフォルダはコピー先で作成されます。

1. 選択したファイルを他のコンパクトフラッシュカードにコピーする場合は「選択ファイルのコピー」をメイン・メニューでハイライトしてから「コピー」ソフトキーを押します。Digita File は「ファイルのコピー」画面を表示します。サムネイル領域は選択したファイルを表示します。また、選択したファイルの枚数とメモリ使用容量も表示します。



ファイルのコピー画面

2. ファイルを選択リストから外したい場合、ファイルをハイライトして「選択解除」ソフトキーを押します。

3. コピーするときは、「コピー」ソフトキーを押します。コピー作業が始まるとコンパクトフラッシュカードの交換を指示する次のようなメッセージが表示されます：
 - コピー元のカードを抜く
 - コピー先のカードを挿入
 - コピー先カードを再挿入してください。カード容量不足のためコピーできません。
 - カードのチェック中
 - コピー先にファイルを書き込み中
 - コピー先のカードを抜く
 - コピー元のカードを挿入
4. コピーが成功し、元のカードを挿入するとメイン・メニューに戻ります。エラーの発生などでコピーが不成功に終わった場合、画面にメッセージが表示されます。失敗したファイルは違う方法でコピーしてください。例えば「すでにファイルが存在します」というメッセージが表示された場合、「終了」ソフトキーを押してメイン・メニューに戻るか、そのファイルを解除して、新たにコピーを続けてください。

選択ファイル名の変更

画像又はシステムファイルのファイル名が変更できます。ファイルをコピーしているとき、コピー先のカードに同じ名前が存在する場合に便利です。Digita File はコピーしようとする、コピー先のファイルが上書きされるので、このような場合は注意メッセージを表示します。

ファイル名を変更するには：

1. メインメニューの「選択ファイル名の変更」をハイライトし「名前を変更」ソフトキーを押します。

選択したファイルのサムネイルが表示されます。選択ボックスは、編集するファイルを意味し、ファイル名は画面の中心に表示されます。カーソルはファイル名の一番うしろにあります。



ファイル名の変更画面

2. カメラの4方向ナビゲーションボタンの右又は左矢印を使って名前を変更したいファイルをハイライトします。

3. 「削除」ソフトキーを使って、前のファイル名を全部又は一部を削除します。キーを毎回押すことにより、文字がひとつずつ消えます。
4. カメラの4方向ナビゲーションボタンの下矢印を使って、新しい名前をタイプします。

メモ キーボードを無効にするとき、又はサムネール領域に戻るときは、上矢印を押します。

5. 中央のソフトキーを押して文字又は数字 / 記号を選択します。ソフトキーは「ABC」又は「123」に切り換わります。
6. 左又は右矢印で文字又は数字 / 記号をハイライトして「タイプ」ソフトキーを押します。そうすることにより、文字又は数字をファイル名に書き込むことができます。ファイル名の長さは8文字まで可能です。ファイルの拡張子は自動的に表示されます。
7. 全てのファイル名を変更した後、「終了」ソフトキーを押します。変更経過を示すバーとメッセージが表示されます。名前の変更が終了するとメイン・メニューに戻ります。
エラーの発生などでファイル名の変更が不成功に終わった場合、画面にメッセージが表示されます。失敗したファイルは違う方法でファイル名を変更してください。

選択ファイルの削除

画像又はシステムファイルをコンパクトフラッシュカードから削除できます。

メモ ファイルがプロテクトされている場合は削除できません。

1. メイン・メニューで「選択ファイルの削除」をハイライトして「削除」ソフトキーを押します。
選択したファイルのサムネールが表示されます。選択ボックスは削除するファイルを意味し、ファイル名と作成した日付と時間が画面の中心に表示されます。



ファイルの削除画面

2. ファイルを削除したくない場合は、カメラのカメラの4方向ナビゲーションボタンの右又は左矢印を使ってサムネールをハイライトして、「選択解除」ソフトキーを押します。選択ファイルからファイルが外されますが、ファイルはそのままです。この段階でファイルを削除したくない場合は「終了」ソフトキーを押してください。

3. 削除したいファイルを選択したら「削除」ソフトキーを押してください。
ファイルは自動的に削除され、エラーがない場合はメイン・メニューに戻ります。
エラーの発生などでファイル名の削除が不成功に終わった場合、画面にメッセージが表示されます。失敗したファイルは違う方法で削除してください。

オプション機能

オプション・メニューには次の追加機能が提供されています：

- コンパクトフラッシュカードのフォーマット
- 全ての画像の削除
- 全ての画像のコピー
- コンパクトフラッシュカードの情報表示
- 画像のフィルタ機能

オプション・メニューを表示するには、メイン・メニューが表示されている状態でカメラの [MENU] ボタンを押してください。

コンパクトフラッシュカードのフォーマット

1. オプション・メニューを表示して、メニュー項目をハイライトします。
2. 「カードをフォーマット」をハイライトし「選択」ソフトキーを押します。
「フォーマットするカードを挿入。記録データは全て失われます！フォーマット後は元に戻せません！」というメッセージが表示されます。フォーマットを行わない場合、「キャンセル」ソフトキーを押すことによりオプション・メニューに戻ることができます。
3. フォーマットしたいカードを挿入し、「フォーマット」ソフトキーを押します。
「フォーマット中 ...」というメッセージが表示されます。フォーマットが完了するとオプション・メニューが再度表示されます。

全ての画像の削除

この機能はカード上の全ての画像を消去します。また、削除する前に特定の画像を削除対象から外すこともできます。

1. オプション・メニューを表示して、メニュー項目をハイライトします。
2. 「全ての画像を削除」をハイライトし「選択」ソフトキーを押します。



全ての画像の削除画面

ヒント この画面の上部分にはカメラのカード上の全ての画像がサムネイル表示されています。選択されている画像の枚数が画面の中心に表示され、カード上の使用容量も表示されています。この状態で「削除」ソフトキーを押すことにより、表示されている全ての画像が削除されます。削除された画像は復元することはできません。

3. オプションとして、4方向ナビゲーションボタンを左又は右方向に押すことにより、選択されている画像のハイライトを移動することができます。「選択解除」ソフトキーを押すことにより、削除対象から画像を外すことができます。対象外になった画像のサムネイルは表示から消えます。
4. [MENU] ボタン、「終了」ソフトキーを押すとファイルを削除せずにオプション・メニューに戻ることができます。
5. サムネイル領域に削除したい画像があることを確認した後、「削除」ソフトキーを押すことによりファイルが削除され、オプション・メニューの表示に戻ります。

全ての画像のコピー

この機能は全ての画像を1つのコンパクトフラッシュカードから他のカードへコピーすることができます。また、コピーする前に特定の画像をコピー対象から外すこともできます。

1. オプション・メニューを表示して、メニュー項目をハイライトします。
2. 「全ての画像をコピー」をハイライトし「選択」ソフトキーを押します。



全ての画像のコピー画面

ヒント この画面の上部分にはカメラのカード上の全ての画像がサムネイル表示されています。コピー対象として選択されている画像の枚数が画面の中心に表示され、カード上の使用容量も表示されています。

3. オプションとして、4方向ナビゲーションボタンを左右方向に押すことにより、選択されている画像のハイライトを移動することができます。「選択解除」ソフトキーを押すことにより、コピー対象から画像を外すことができます。対象外になった画像のサムネイルは表示から消えます。
4. [MENU] ボタン、「終了」ソフトキーを押すとファイルをコピーせずにオプション・メニューに戻ることができます。
5. サムネイル領域にコピーしたい画像があることを確認した後、「コピー」ソフトキーを押します。

コピー作業が始まるとコンパクトフラッシュカードの交換を指示する次のようなメッセージが表示されます：

コピー元のファイルを読み込み中
 コピー元のカードを抜く
 コピー先カードを挿入
 カードのチェック中
 コピー先にファイルを書き込み中
 コピー先のカードを抜く
 コピー元のカードを挿入

メモ コンパクトフラッシュカードを交換する回数はコピーする画像の枚数と容量により異なります。

6. コピー作業が終わるとオプション・メニューに戻ります。

コンパクトフラッシュカード情報の表示

1. オプション・メニューを表示して、メニュー項目をハイライトします。

2. 「カード情報を表示」をハイライトし「選択」ソフトキーを押します。

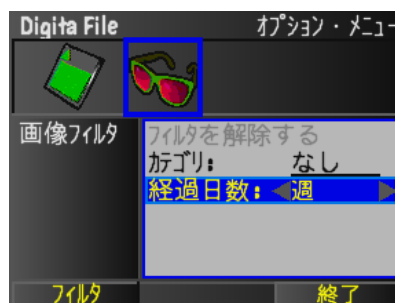


カード情報画面

3. 情報を読み終わりましたら「終了」ソフトキーを押すとオプション・メニューに戻ります。

画像のフィルタ

1. オプション・メニューを表示して、画像フィルタ機能の画面を表示します。
2. [MENU] ボタン、又は4方向ナビゲーションボタンを使用してメニュー項目をハイライトします。
3. カテゴリ、経過日数、又はグループをハイライトします。



画像のフィルタ画面

4. オプションがハイライトされると、左又は右矢印が表示されます。4方向ナビゲーションボタンの左又は右矢印を押すことにより、項目がトグルされます。例えば経過日数であれば次の選択があります：
 - 日 - 今日撮影した画像のみ表示
 - 週 - 今週撮影した画像のみ表示
 - 月 - 今月撮影した画像のみ表示
 - 年 - 今年撮影した画像のみ表示
5. 表示される画像を制限する好みのフィルタを設定してください。
6. 「終了」ソフトキーを押すと、メイン・メニューに戻ります。

問題解決方法

Digita File のアイコン

下記の表では Digita File で使用されているアイコンとその意味を定義します。

アイコン	意味
赤色のカード	コピー先カード又は親（上の）フォルダ
緑色のカード	コピー元カード又は子供（サブ）フォルダ
壊れているカード	ファイル削除の画面で「削除」ソフトキーを押すと選択されたファイルが削除される警告
傾いているカード	リソースファイル
アイコン上のクエスチョンマーク (?)	Digita File が認識しないシステムファイル
太陽	.JPG ファイル (非 Digita 対応)
絵	.JPG ファイル (Digita 対応)
丸 / 三角	.CAM ファイル

メッセージおよび現象

Digita File を使用中に次のメッセージが表示される、又は現象が起きることがあります。画面に表示されるメッセージは斜体で記述されています。

メッセージ又は現象	意味および解決方法
<i>カードを挿入して下さい...</i>	カードをカメラから取り外しました。「終了」ソフトキーを押して、アプリケーションを終了するか、カードを挿入してください。
<i>カメラの電源を切りますか？</i>	「終了」ソフトキーまたは電源ボタンを押しました。このメッセージは確認です。終了するには「はい」または「キャンセル」を押すことにより Digita File に戻れます。
<i>フォーマットするカードを挿入。記録データは全て失われます！フォーマット後は元に戻せません！</i>	カードのフォーマットを選択すると表示されます。確認用メッセージです。

メッセージ又は現象	意味および解決方法
フォーマット失敗。別のカードを挿入して下さい	カードのフォーマットを選択しましたが、フォーマットできませんでした。違うカードをフォーマットするか、フォーマットを中止してください。
最初にカードをフォーマットしてください	コピーを開始しましたが、コピー先カードがフォーマットされていませんでした。コピーを中断し、コピー先カードをフォーマットしてから、再度コピー作業を行って下さい。
コピー元/先カードを再挿入してください	コピー中に間違ったカードを挿入しました。
カード容量不足のためコピーできません	コピー先カードの容量が足りません。違うカードを使用するか、コピー先カードの必要でないファイルを削除するか、コピーするファイル枚数を減らしてください。
カードのチェック中	Digita File はコピー先カードを検証しています。
ファイルが見つかりません	アイコンに該当するファイルが見つかりませんでした。このファイルに対する操作はできません。
属性が違います	このファイルが正しい属性を持っていません。考えられるのは Windows 上で読み込み専用のファイルに設定されたことです。解決するにはファイル属性を変更してください。
原因不明のエラー	作業が失敗しましたが、その理由が特定できません。
ファイルが開けません	アイコンで指定されたファイルを開くことができませんでした。
すでにファイルが存在します	コピー又は名前の変更が既に存在するファイルを上書きしようとしています。既存ファイルを削除するか、違うファイル名にしてください。
その名前は存在しません	ファイル名を変更する作業でファイル名が入力されませんでした。ファイル名入力スクリーンで正しいファイル名を入力してください。
画像情報にアクセスできません	ファイルに関する情報が読み込めませんでした。
写真選択画面上のアイコンにクエスチョン・マーク(?)が表示される	カード上に読み込めない JPEG 又は FlashPix のファイルが存在します。

メッセージ又は現象	意味および解決方法
システムファイル選択画面上的アイコンにクエスチョン・マーク(?)が表示される	Digita File が認識できないファイルです。
カメラの電源が切れる	電池容量不足、電源コネクタが抜けたなどの理由が考えられます。電源の確認後、Digita File を起動しなおしてください。もしも、コピー作業中でしたら、きちんとコピーされなかったファイルをコピー先カードから削除してください。
選択されたファイルが画面から消え、カードがありませんと表示される。選択が解除されている	ファイル選択中にカードを抜いてしまいました。カードを挿入してください。
メイン・メニューが表示され、選択されたファイルがない	この状態がメイン・メニューの初期状態です。また、メイン・メニュー表示中にカードを抜いて違うカードを挿入するとこの画面が表示されます。

分からないことがある場合

本ユーザガイドで分からないご質問などがございましたら、当社のホームページ上の追加情報をご覧ください。ホームページの URL は <http://www.flashpoint.com/jp> です。